

福島県環境教育等行動計画【第2次】計画案に対する事前意見と対応案

No.	項目	ページ	行	意見等	対応案	委員名	担当課室等
1	全般			<p>○ しっかりできているように思います。しかしながら、現場(特に学校現場)の忙しさへの配慮があまりなされておらず、実態を伴いにくい可能性があると思いました。取り入れやすい環境教育をパッケージ化し、敷居を下げ提供していくといった観点も取り入れていってほしいです。</p>	<p>○ 御意見を踏まえ、本計画の施策を実施するにあたっては、学校を始めとした各主体の実態に配慮して取り組んでまいります。</p>	沼田委員	生活環境総務課 義務教育課 高校教育課
2	全般			<p>○ 環境教育に関して、大変多くの事業を展開しておられることを確認しました。このような成果として、持続可能な社会に向けて小・中・高校生がそれぞれどのような気づきを得て学び、考え、夢や将来を描いているのか。成果を見える化することを期待します。</p> <p>そのために、次世代の発表機会を創造するなど、具体的施策の実施段階で検討していただきたいと考えます。例えば環境創造センターで毎年、小・中・高校生の研究発表会を実施することで、次世代の考えが顕在化し活力ある未来に繋がるに違いありません。</p>	<p>○ 環境創造センターでは、小学生の理科自由研究発表会や小中学生向けサイエンスクラブの成果発表会、高校生のプレゼンテーション大会など、小・中・高校生の発表の機会を設けております。</p> <p>○ 御意見を踏まえ、今後も未来を担う小・中・高校生等の人材育成とその成果の見える化に取り組んでまいります。</p>	崎田委員	生活環境総務課 環境創造センター
3	はじめに	1	14	<p>○ 令和12年度(2030年度)までとします。 →令和12年度(2030年度)までの<u>9ヶ年</u>です。</p>	<p>○ 御意見のとおり修正します。(対応済み)</p>	西村委員	生活環境総務課

4	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	2	8	○ 「…放射性物質の放出による <u>県土</u> の環境汚染」→「…放射性物質の放出により <u>県土</u> の環境汚染」	○ 御意見のとおり修正します。 (対応済み)	渡邊委員	生活環境総務課
5	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	3	3	○ 環境教育等を含めた環境の保全・回復→環境教育等に基づく環境の保全・回復	○ 御意見のとおり修正します。	渡邊委員	生活環境総務課
6	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	3	6	○ ウ・エ・オ・カ・キ・ク・ケ・スについても、環境教育に関することが具体的にどう記載されているかが、言及されていればと思います。	○ 御意見を踏まえ、条例・計画中の記載を確認の上、環境教育に関する記述を追記します。	沼田委員	環境共生課 自然保護課 水・大気環境課 一般廃棄物課 復興・総合計画課
7	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	6	14	○ 多様な主体との連携→多様な主体を例示も含めて具体的名称を示してほしい。	○ 「市町村を始め、企業や民間団体などの多様な主体との～」を追記します。	渡邊委員	自然保護課
8	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	7	22	○ 水環境保全等を支援→水環境保全活動等を支援	○ 御意見のとおり修正します。	渡邊委員	環境創造センター
9	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	7	31	○ 放射線物質の文言は、放射性物質ではないでしょうか。	○ 御意見のとおり修正します。 (対応済み)	丹野委員	環境創造センター
10	1 福島県の環境教育等を取り巻く動向	11	下から3行目	○ 相互に依存する関係→相互に影響する関係（影響しあう関係）	○ 御意見のとおり修正します。	渡邊委員	生活環境総務課
11	2 環境教育等の推進に当たっての考え方	12	6～9	○ 推進するためには、それぞれの主体が相互に連携・協働して取り組むことも重要です。これらについて、本県の環境教育等を取り巻く動向を踏まえなが	○ 御意見のとおり修正します。	渡邊委員	生活環境総務課

				ら取組を進めていくことが必要です。 →推進するためには、本県の環境教育等を取り巻く動向を踏まえながら、それぞれの主体が相互に連携・協働して取り組むことも重要です。			
12	2 環境教育等の推進に当たっての考え方	16	4~5	○ 各種メディアの例として、SNS も入れてはと思います。	○ 御意見を踏まえ、SNS を追記します。	沼田委員	生活環境総務課
13	2 環境教育等の推進に当たっての考え方	17	図	○ 木の幹に連携・協働を記入 茶の円に「交流・情報共有」等を入れる(提案です。)	○ 御意見を踏まえ、修正します。	渡邊委員	生活環境総務課
14	3 環境教育等を推進するための施策	19, 22, 25, 27, 29, 31	指標	○ 強い意見ではありませんが、挙げられている指標のほとんどは施策の取組みの度合いを示す指標になっていますが、指標3(一般廃棄物一人当たり排出量)は、ごみ減量化の結果(アウトカム)としての指標になっています。作成中の廃棄物処理計画においても重要指標になっており、様々な施策の組み合わせで達成すべきもので、環境教育の施策(意識啓発)はそのごく一部でしかありません。その意味では、他の指標と同様に、例えば、家庭に対する意識啓発の施策取組み度合いを表すような指標が、他指標との横並びでも妥当なような気がします。排出量の指標は、廃棄物処理計画の進捗管理において活用していただくことで良いのではないかと思います。	○ 御意見のありました指標については、廃棄物処理計画の進捗管理において活用することとし、本計画からは削除します。 なお、ごみ削減の意識啓発について、「食べ残しゼロ協力店・事業所数」の指標により評価することとします。	大迫委員	一般廃棄物課 生活環境総務課
15	3 環境教育等を推進するための施策	19	指標	○ 表中の現況値について一般廃棄物の排出量の現況値にR1年度の全国平均値も記載してはどうか。	○ 御意見のありました指標については、意見 No 14 を踏まえ削除することとしております。	今野委員	一般廃棄物課 生活環境総務課

				(目標値との比較がしにくいいため)			
16	3 環境教育等を推進するための施策	19, 27	指標	○ 福島議定書事業参加事業所数、みんなでエコチャレンジ事業参加世帯数の目標値は、挑戦的な数字と思われますが、具体的な新たな施策は考えているのでしょうか。	○ 福島県2050年カーボンニュートラルの実現のためには、これまで以上に県民総ぐるみの地球温暖化対策を強力に推進する必要があることから目標値を設定しました。今後、より多くの事業所、学校及び県民が参加いただけるよう取り組んでまいります。	河津委員	環境共生課
17	3 環境教育等を推進するための施策	20	-	○ 学校における環境教育等について、高等専門学校(高専)も地域に根ざした教育・研究活動を行っているため、文言を追加していただけないでしょうか。	○ 御意見を踏まえ、高等専門学校に係る文言を追加します。	丹野委員	生活環境総務課
18	3 環境教育等を推進するための施策	21	1	○ 豊かな自然やごみのリサイクルなど→豊かな自然の成り立ちやごみのリサイクル方法など(環境に関する教材としての修飾語)	○ 御意見を踏まえ、修正します。	渡邊委員	生活環境総務課
19	3 環境教育等を推進するための施策	22	指標	○ 表の末尾に「再掲」とありますが、この計画では、初出と思います。なお、環境基本計画では、環境指標の一つになっているように思います。環境基本計画も環境指標の番号を記載し、他の計画でも出てくる環境指標の場合、その指標の番号で対応が分かるように記載されていればと思います(このことは、他の計画についても言えます)。	○ 御意見を踏まえ、計画中で一度掲載された指標を再度掲載する場合を「再掲」と整理します。 ○ また、他計画でも指標となっているものにつきましては、35 頁からの指標一覧に関連計画を示すこととします。	沼田委員	生活環境総務課
20	3 環境教育等を推進するための施策	23	コラム	○ 只見中学校の学生写真について、プライバシー保護の観点から、顔写真の使用に関する承諾等はとっているのでしょうか	○ 御意見について、只見中学校から写真の使用を承諾いただいております。	丹野委員	生活環境総務課

21	3 環境教育等を推進するための施策	24	21	○ 温暖化防止活動推進員の育成は入れられませんでしょうか？（ご検討ください。）	○ 御意見を踏まえ、[主な推進施策]に地球温暖化防止活動推進養成研修について追記します。	渡邊委員	環境共生課 環境創造センター
22	3 環境教育等を推進するための施策	25	指標	○ 森林づくり意識醸成活動の参加者数の現況値は、38 頁の図には見られません。 ○ なお、森林づくり意識醸成活動も、昨今のコロナ禍に伴うリモート化の状況を組み込み、環境基本計画 62 頁のコミュニティ福島利用者数のように、オンラインのコンテンツの閲覧数も環境指標に入れてはと思います（利用者数の内訳を、オンラインの閲覧数と、実際の訪問者数で、分けて示した上で）	○ 御意見について、現況値を 38 頁の図に記載しました。（対応済み） ○ 森林づくり意識醸成活動は、森林づくりに関する様々な取組を集計したものであり、それぞれの意識醸成活動に差を設けていない指標としておりますので、原案のままとします。	沼田委員	生活環境総務課 森林保全課
23	3 環境教育等を推進するための施策	26	22	○ 化学物質による環境リスクに関する正確な情報を→化学物質だけではなく放射性物質や水環境、大気環境、廃棄物処理などを含める。	○ P26 (4) 職場における環境教育等の [主な推進施策] に環境アドバイザー等派遣事業について記載することとします。 なお、環境アドバイザー等派遣事業において、化学物質リスクコミュニケーションをはじめ、放射性物質、水環境、大気環境、廃棄物に関する普及啓発を実施しています。	渡邊委員	環境共生課 環境創造センター
24	3 環境教育等を推進するための施策	31	指標	○ 環境学習を行った県内小学校の割合の数値について、「42,6%」から「42.6%」に修正してはどうでしょうか。	○ 御意見のとおり修正します。（対応済み）	丹野委員	生活環境総務課

25	3 環境教育等を推進するための施策	31	指標	<p>○ コミュタン福島の利用者数と、県内小学校の割合は、環境基本計画の環境指標にもなっていると思います。具体的にどう再掲になっているか、記載が欲しいです。また、同じ環境指標が、指標 7(37 頁)であり、かつ、指標 19 (40 頁)でもあるというのは、分かりづらいです。「4. 環境教育等の取組状況の点検等」での一覧では、指標 7 は、環境創造センター等を活用した環境教育等の指標でもありとし、指標 19 の場所で指標 7 を再掲ということで記してはいかがでしょうか(39 頁の指標 15 も同じで、指標 8(37 頁)と同じなので、指標 15 の場所で指標 8 を再掲ということで記してはいかがでしょうか)。</p>	<p>○ 御意見を踏まえ、指標の掲載方法を整理します。</p>	沼田委員	生活環境総務課
26	3 環境教育等を推進するための施策	32 他		<p>○ 福島県環境創造センターに文言を統一してはどうでしょうか。</p>	<p>○ 御意見を踏まえ、文言を修正します。</p>	丹野委員	生活環境総務課 環境創造センター